

三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト 関係人口創出ワークショップ実践業務審査要領

1 選定委員会の設置

- (1) 三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト 関係人口創出ワークショップ実践業務に係る公募型プロポーザル方式実施要領第7「優先交渉権者の決定に係る審査」は、安城市プロポーザル方式試行要領第7条に基づき、企画部長を委員長とする選定委員会（以下、「選定委員会」という。）を設置し、審査を行います。
- (2) 選定委員会の委員は、行革・政策監、健幸=SDGs課長、同主幹、同プロジェクト推進係職員、都市計画課拠点整備係職員とし、委員長を含む6名で審査します。

2 審査対象

業務提案書及び業務担当者によるプレゼンテーションを審査対象とします。

3 プレゼンテーションの実施方法

- (1) プレゼンテーションは、「三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト 関係人口創出ワークショップ実践業務に係る公募型プロポーザル方式実施要領」の様式3に記載のある配置予定技術者のうち管理技術者が実施します。
- (2) 審査時間は提案20分以内、質疑10分以内とします。
- (3) 参加者は業務担当者とし、管理技術者を含め、3名までとします。
- (4) 審査当日に使用する機器については、安城市でプロジェクター、スクリーンを準備しますので、HDMIケーブルで接続可能なPC及びデータを持参してください。
- (5) 現時点で対面を想定します。社会情勢に応じ、ウェブミーティングによる審査となる場合があります。

4 審査における評価基準及び配点

別表「評価基準」のとおりとします。

5 審査方法

- (1) 選定委員会の各委員が、評価基準に基づき、各提案についてそれぞれ審査を行います。
- (2) 委員ごとに評価し、その合計点が高い順に順位をつけ、第1位とした委員を最も多く獲得した事業者を優先交渉権者の候補者、2番目に多く獲得した者を次点者として選定します。
- (3) ただし、同数の場合は、各委員の合計点を集計した点数（総合計点）がより高い者を候補者、他方を次点者とします。
- (4) 総合計点も同点の場合は、今回の見積価格がより低い者を候補者とし、次に低い者を次点者とします。
- (5) 候補者が辞退した場合、又は候補者がその資格を喪失した場合は、次点者を候補者とします。

別表：評価基準

区分	評価項目	評価の視点	配点	
技術点	実施方針・実施体制	実施方針の的確性 (本業務遂行に向けた課題と論点の整理)	① 本業務における三河安城駅周辺固有の機会・課題が整理されているか。 ② 上記の課題解決上有すべき視点(仮説)がよく検討されているか。 ③ 目的を達成するための多目的交流拠点の情報配信方法がよく検討されているか。 ④ 関係人口創出における多目的交流拠点で仕掛ける本業務の効果について、三河安城駅周辺へ波及させるための考え方が示されているか。 ⑤ ④について、関係人口創出の考え方について、公民連携地域再生計画と一致し、また向上されるものとなっているか。 ⑥ ④について、三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画(まちなかウォークアブル推進事業)と一致し、また向上されるものとなっているか。	6
		スケジュールの実現性	① つかい方コンセプト作成までのスケジュールが示され、特に公募において、現在の活動者の動向などに配慮されたスケジュールとなっているか。 ② つかい方ワークショップのスケジュールが示され、現在の三河安城の動向などに配慮されたスケジュールとなっているか。 ③ つかい方フォーラムのスケジュールが示され、現在の活動者の動向などに配慮されたスケジュールとなっているか。	6
		業務効果の妥当性 (時間軸を伴う波及効果の考え方)	① つかい方コンセプト、つかい方ワークショップ、つかい方フォーラムの効果が、公民連携地域再生計画や都市再生整備計画の計画期間(5年)で増幅されるようなスケジュール(行動ゴール含む)となっているか。	6
		実践の実現性	① 業務目的を達成するために必要な組織体制(役割分担)が示されているか。 ② 業務目的を達成するために必要な組織体制(役割分担)のうち、人員配置及びその構成が現実に遂行できる内容となっているか。 ③ 業務目的を達成するために必要な組織体制(役割分担)のうち、会社や人員の同種業務の実績・経験が確認でき、現実に遂行できる内容となっているか。	4
	業務提案内容	つかい方コンセプトの実現性	① 「つかい方コンセプト」と「まちをつかいきっているビジョン」及び「デザインブック」との関係の実現性(現在の三河安城における「つかい方コンセプト」の持つ意味とその理由) ② 活動シーン設定の訴求力(「マチナカプレイスメイキング」、「まちをつかいきっているビジョン」、「デザインブック」など、現在の	10

		活動状況を踏まえているか、新たな仮説に基づき定義されているか。) ③ つかい方コンセプト構成案の訴求力（つかい方コンセプトとこれをまとめる上で重要な視点が設定されているか。）	
	つかい方ワークショップの実現性	① 「つかう.meet などの活動者の対話の場」と「デザインブックなどのまちをつくる取組との関係」及び「つかい方コンセプト」との関係の実現性（現在の三河安城における「対話の場」や「必要な機能実装に向けた動き」への作用とその理由） ② 地域を巻き込む情報配信の訴求力 ③ つかい方ワークショップの実施構成案の訴求力（何を大切にしたワークショップであるのか。） ④ 参加者の持つ役割の訴求力	20
	つかい方フォーラムの実現性	① 運営方法が創意工夫に満ちているか（多くの地域住民、活動者、企業につかい方ワークショップに参加を働きかける工夫、活動者・つかう.meet・つかう.meet の共同活動、まちの機能実装との連携に関する提案、ステークホルダーとの連携に関する提案）。 ② 審査の枠組みが明確に提案されているか（広く若しくは三河安城の現状に合致した審査について提案でき、かつコネクションを有し、審査に参画いただける確実性を有するか）。	20
	プレゼン	① 説明が理解しやすく説得力があるか。 ② 質問に対する回答が適切か。 ③ 業務に対して積極性が感じられるか。	8
価格点	見積書	提案に対し、コストが適正であるか。 ※最低見積価格／当該業者の見積価格×20点	20
合計			100